JT Group
2026年度 第3四半期 決算説明会

古川 博政
JT Group CFO

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※用語の定義については、スライド18以降に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、**「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」**等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。

その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

1. 喫煙に関する健康上の懸念の増大
2. たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
3. 国内外の訴訟の動向
4. たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
5. 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
6. 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
7. 買収やビジネスの多角化に伴う影響
8. 国内外の経済状況
9. 為替変動及び原材料費の変動
10. 自然災害及び不測の事態等

© Copyright JT 2026

2026年度 第3四半期累計実績

2026年度　第3四半期累計実績：
引き続き力強いトップライン成長により大幅な増益を達成

（億円）	2026年 1-9月	前年同期比*1
売上収益	29,914	+13.6%
為替一定 Core revenue*2	27,323	+8.4%
調整後営業利益*2	9,724	+21.6%
為替一定 調整後営業利益*2	9,347	+16.9%
営業利益	9,477	+24.2%
四半期利益*3	6,189	+21.0%

売上収益・調整後営業利益

- たばこ事業及び加工食品事業共に増収増益

為替影響（たばこ事業）

- 円安/現地通貨高によりポジティブに発現

営業利益

- 調整後営業利益の増加及び調整項目における無形資産償却費の減少により増益

四半期利益

- 営業利益の増加により増益

*1：比較軸となる前年同期実績は、いずれも継続事業ベース
*2：用語の定義に記載のとおり、2026年度第1四半期よりカナダ調整（Annual contributionの控除）を実施。前年同期比はLike-for-Likeベース
*3：配当額を算定する際に基となるカナダ調整（Annual contribution及び金融負債にかかる割引利息の控除）後の四半期利益は、6,154億円
注：超インフレ経済下にある子会社の財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要件に従い、会計上の調整を実施。なお、為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除

© Copyright JT 2026

たばこ事業　数量実績：
Combustiblesのシェアモメンタムが継続 / RRP販売数量の着実な伸長

（億本）	2026年 1-9月	前年同期比
総販売数量	4,374	-0.3%
Combustibles 販売数量	4,242	-1.0%
GFB販売数量	3,130	-0.5%
RRP販売数量	132	+31.1%
Heated Products 販売数量	113	+39.6%

Combustibles

- GFBを中心とした各市場における継続的なシェア成長が総需要の減少を一部相殺
  - 新興市場を中心に数量が伸長
  - 日本・ロシア・英国等における総需要の減少

RRP

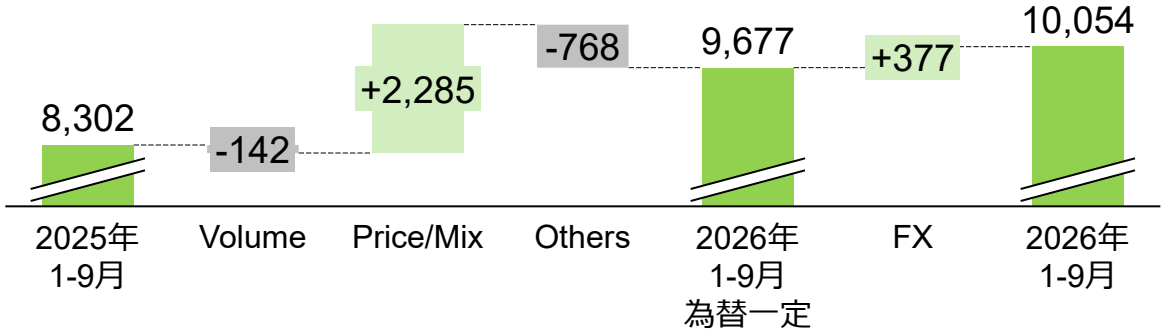
- Ploomの着実な数量及びシェアの伸長
  - 日本におけるPloom AURAの伸長
  - LYOも貢献した欧州における成長

© Copyright JT 2026

たばこ事業　財務実績：力強いプライシング効果が利益成長を牽引

（億円）	2026年 1-9月	前年同期比
自社たばこ製品売上収益*	27,505	+14.5%
（同　為替一定）*	26,113	+8.7%
調整後営業利益*	10,054	+21.1%
（同　為替一定）*	9,677	+16.6%

調整後営業利益　増減要因（億円）



Volume

- 高単価市場等における総販売数量の減少によりネガティブに発現

Price/Mix

- フィリピン・ロシア・トルコ・英国・米国を中心に多くの市場において力強いプライシング効果が継続

Others

- Ploomへの投資強化
- インフレに伴うサプライチェーンコストの増加

為替影響

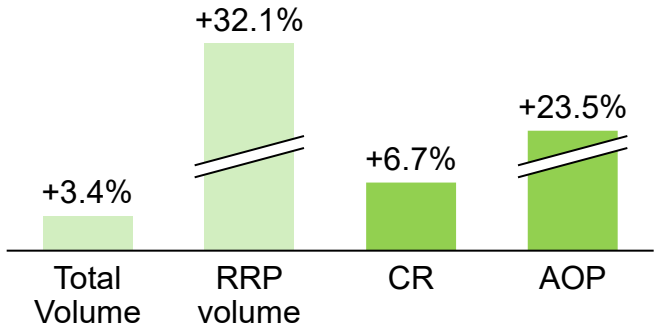
- 円安/現地通貨高によりポジティブに発現

*用語の定義に記載のとおり、2026年度第1四半期よりカナダ調整（Annual contributionの控除）を実施。前年同期比はLike-for-Likeベース
注：超インフレ経済下にある子会社の財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要件に従い、会計上の調整を実施。なお、為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除

© Copyright JT 2026

たばこ事業：クラスター別実績

ASIA



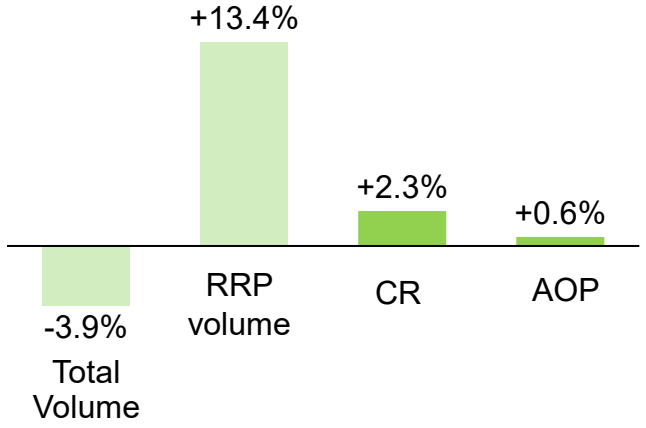
Total Volume

- 一部市場における堅調な総需要及び市場シェアの伸長
- 日本・台湾等におけるPloomの伸長
- 日本のRRP増税に伴う定価改定を受けた仮需の発生

CR/AOP

- 日本・フィリピン等におけるプライシング効果及び日本におけるPloom伸長による数量効果

WESTERN EUROPE



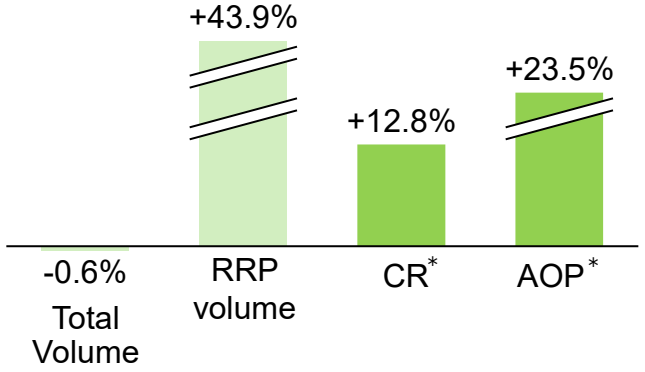
Total Volume

- 複数市場における市場シェアの伸長
- 各市場におけるPloomの伸長
- 英国等におけるCombustibles総需要の減少

CR/AOP

- 英国等におけるプライシング効果が、ネガティブな数量効果を相殺

EMA



Total Volume

- トルコ等における市場シェアの伸長
- 各市場におけるPloomの伸長
- Combustibles総需要は、トルコにおいて増加したものの、ルーマニア・ロシア・米国等において減少

CR/AOP

- ルーマニア・ロシア・トルコ・米国等におけるプライシング効果

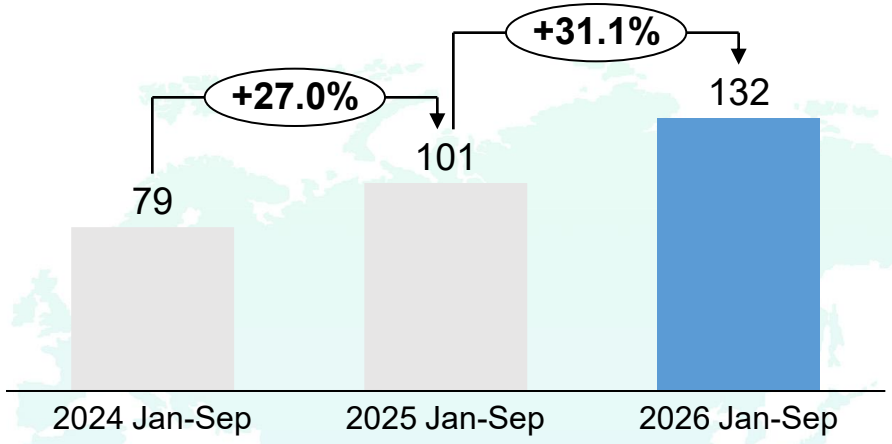
- Ploomへの投資強化 / インフレに伴うサプライチェーンコストの増加

*用語の定義に記載のとおり、2026年度第1四半期よりカナダ調整（Annual contributionの控除）を実施。前年同期比はLike-for-Likeベース
注：Total volume, RRP volume, CR, AOPはいずれも2026年1-9月 前年同期比。なお、CR、AOPはいずれも為替一定ベース

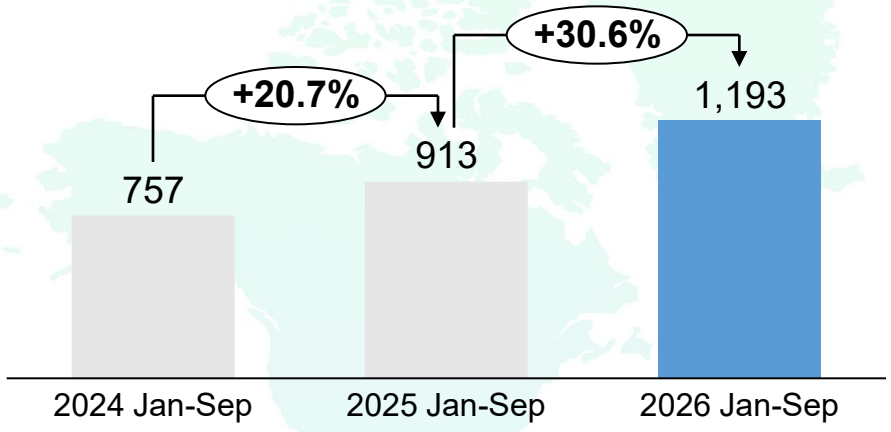
© Copyright JT 2026

RRP：トップラインの成長が加速

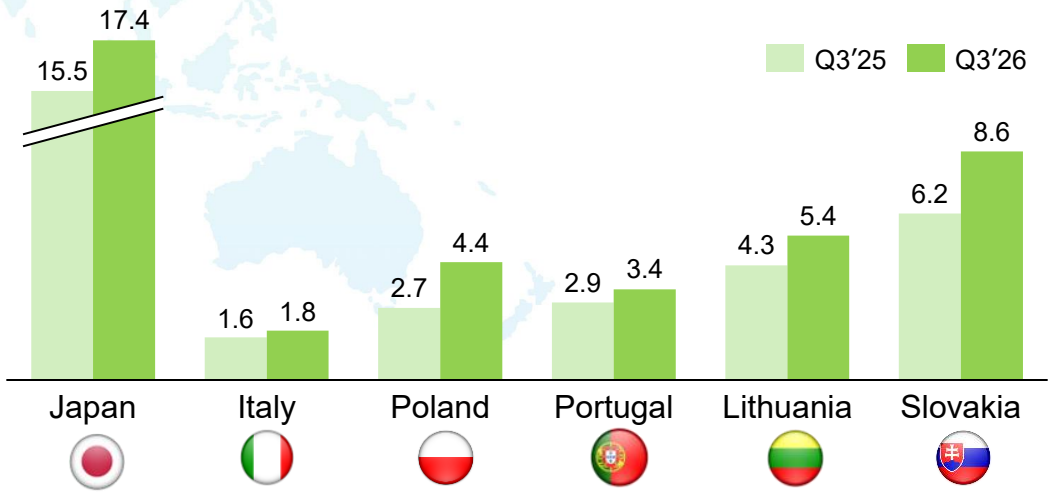
RRP 販売数量（億本）



RRP関連売上収益（億円）

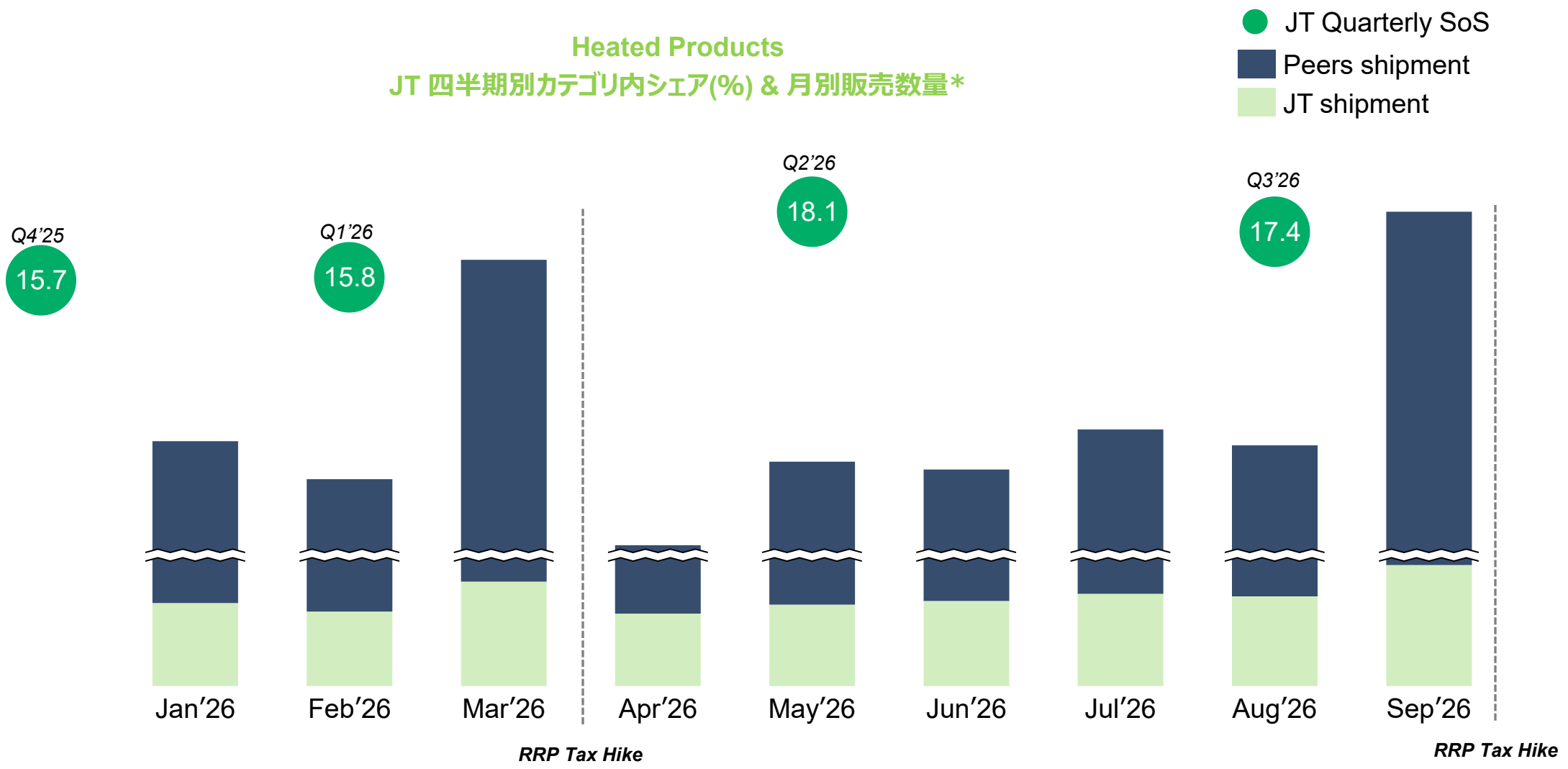


Heated Products カテゴリ内シェア(%)



© Copyright JT 2026

RRP Japan：Ploomの成長モメンタムが継続



*出荷ベース / JT推計

© Copyright JT 2026

加工食品事業　財務実績

加工食品事業

（億円）	2026年 1-9月	前年同期比 増減
売上収益	1,194	+41
調整後営業利益	60	+4

売上収益

- 価格改定効果及び新商品の伸長等により増収

調整後営業利益

- 売上収益の増加が、原材料費及び物流費の上昇を相殺し増益

© Copyright JT 2026

2026年度 修正見込

2026年度 全社修正見込：
たばこ事業の力強いモメンタムを反映し、ボトムラインまでの各指標を上方修正

（億円）	2026年 修正見込	対前回見込 増減	前年度比*1
売上収益	39,030	+180	+12.6%
為替一定 Core revenue*2	35,580	+440	+7.3%
調整後営業利益*2	10,790	+440	+21.9%
為替一定 調整後営業利益*2	10,280	+400	+16.1%
営業利益	10,410	+330	+20.1%
当期利益*3	6,620	+180	+32.6%
FCF	5,960	-550	+3,233

売上収益・調整後営業利益

- たばこ事業における上方修正を反映
- 調整後営業利益における為替影響はポジティブに発現する見通し

営業利益

- 調整後営業利益の上方修正により、330億円の上方修正

当期利益

- 営業利益の上方修正により、180億円の上方修正

FCF

- Scandinavian Tobacco Groupの刻みたばこブランド取得対価支払等により見通しをアップデート

*1：比較軸となる前年度実績は、FCF以外はいずれも継続事業ベース
*2：用語の定義に記載のとおり、2026年度第1四半期よりカナダ調整（Annual contributionの控除）を実施。前年度比はLike-for-Likeベース
*3：配当額を算定する際に基となるカナダ調整（Annual contribution及び金融負債にかかる割引利息の控除）後の当期利益は、6,600億円
注：超インフレ経済下にある子会社の財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要件に従い、会計上の調整を実施。なお、為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分を一定の算定方法を用いて控除

© Copyright JT 2026

2026年度 たばこ事業 修正見込：
好調なビジネスモメンタムを反映し通期見込を上方修正

数量前提

	2026年 修正見込	前回見込
総販売数量	前年度比 約-0.5%	前年度比 -1.0%～同水準

財務見込

（億円）	2026年 修正見込	対前回見込 増減	前年度比
自社たばこ製品 売上収益*	35,610	+60	+13.0%
（同　為替一定）*	33,870	+470	+7.4%
調整後営業利益*	11,330	+460	+21.2%
（同　為替一定）*	10,820	+420	+15.7%

数量前提

- 堅調な実績を反映し、前年度比約-0.5%を見込む
  - Asiaにおける底堅いCombustibles総需要
  - トルコをはじめとした複数市場におけるシェアモメンタム

財務見込

- プライシング効果を主因とした力強いトップラインパフォーマンスにより上方修正

為替影響

- 調整後営業利益における為替影響はポジティブに発現する見通し（今回見込：+510億円 / 前回見込：+470億円）

*用語の定義に記載のとおり、2026年度第1四半期よりカナダ調整（Annual contributionの控除）を実施。前年度比はLike-for-Likeベース
注：超インフレ経済下にある子会社の財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要件に従い、会計上の調整を実施。なお、為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分を一定の算定方法を用いて控除

© Copyright JT 2026

2026年度　加工食品事業　修正見込

加工食品事業

（億円）	2026年 修正見込	対前回見込 増減	前年度比 増減
売上収益	1,670	-30	+75
調整後営業利益	85	+5	-1

売上収益

- 冷食・常温事業における販売見通しの精緻化により下方修正

調整後営業利益

- 売上収益の下方修正があるものの、価格改定施策及びコスト低減等による利益率の改善により上方修正

© Copyright JT 2026

Closing Remarks

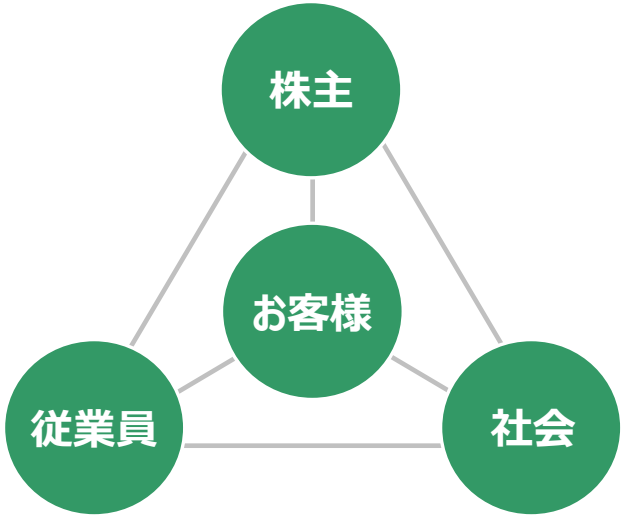
Closing Remarks

- **CombustiblesとPloomが牽引する、力強いトップライン成長**
  Combustiblesのシェア伸長及びプライシング効果に加え、Ploomの販売数量も伸長

- **9か月累計で力強い利益成長を実現**
  全社為替一定調整後営業利益は、前年同期比＋16.9%の高成長

- **全P&L指標で通期業績予想を上方修正、過去最高を更新する見通し**
  当期利益は、前年度比+30%超を見込む

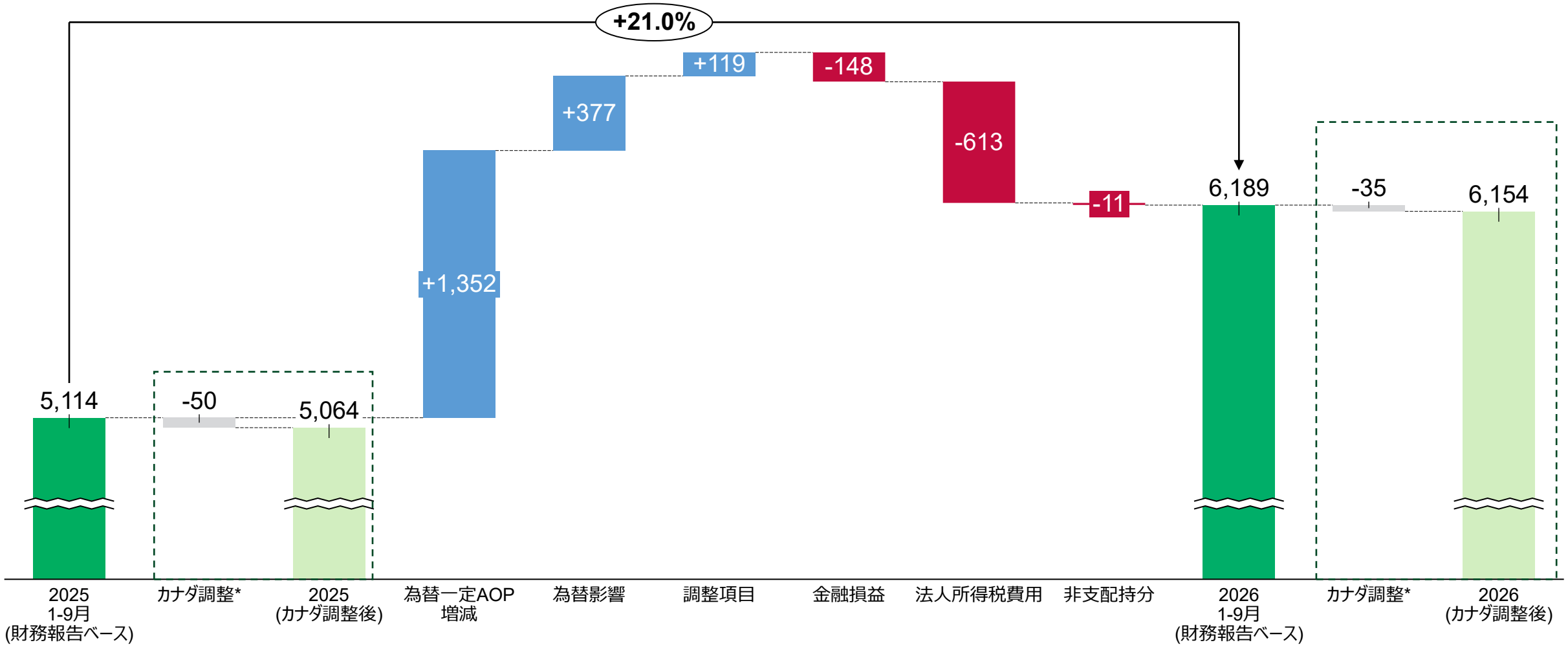
心の豊かさを、
もっと。



© Copyright JT 2026

Appendix：2026年度 第3四半期累計実績

■ 四半期利益ロードマップ（億円）



*カナダ調整：税引き後のAnnual contribution及び金融負債にかかる割引利息等の控除影響

© Copyright JT 2026

＜用語の定義＞

調整後営業利益	営業利益 ＋ 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 ＋ 調整項目(収益及び費用)*－カナダ調整(Annual contribution**) *調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等 **カナダにおける当社現地子会社であるJTI-Macdonald Corp.を被告に含む喫煙と健康に係る訴訟の和解に伴う和解金分割支払額相当に対応する利益
為替一定ベース	前年同期の為替レートを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標 ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではない
為替一定ベースCore revenue (全社)	為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益＋加工食品事業・その他の売上収益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益から、カナダ調整(Annual contribution*)を控除した金額 *カナダにおける当社現地子会社であるJTI-Macdonald Corp.を被告に含む喫煙と健康に係る訴訟の和解に伴う和解金分割支払額相当に対応する売上
RRP関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス／関連アクセサリー等を含むRRPの売上収益
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品 当社製品ポートフォリオにおけるHeated Products/Infused Tobacco/E-vapor/Modern Oral/Traditional Oral等が含まれる
Heated Products	デバイスによってスティックを直接加熱するHTSとHNSの総称
Heated Tobacco Sticks (HTS)	たばこ葉を使用したスティックをデバイスを用いて直接加熱する製品。1スティック当たりRMC1本として換算
Heated Nicotine Sticks (HNS)	たばこ葉を使用せず、ニコチンを含むスティックをデバイスを用いて直接加熱する製品。1スティック当たりRMC1本として換算

© Copyright JT 2026

＜用語の定義＞

Infused Tobacco (Infused)	デバイスによってリキッド（液体）を加熱し発生したベイパー（蒸気）が、たばこ顆粒の入ったカプセルを通過することで、味・香りを抽出したたばこベイパーを愉しむ製品。1パック当たりRMC20本として換算
Combustibles	製造受託／RRPを除く燃焼性のたばこ製品
総販売数量	製造受託／RRPデバイス及び関連アクセサリーを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles販売数量	製造受託／RRPを除く燃焼性のたばこ製品の販売数量
RRP販売数量	RMCとして換算したRRPの販売数量。ただし、デバイス／関連アクセサリー等は含まない
Heated Products販売数量／Ploom販売数量	RMCとして換算したHeated Products（Ploom）の販売数量。ただし、デバイス／関連アクセサリー等は含まない
Global Flagship Brands (GFB)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド

© Copyright JT 2026